



みんなで一緒におはなしや手遊びを楽しみました。

お母さんと遊んじゃお 子育て支援施設でお話し会

子育て支援施設が主催する「おはなし会」は7月8日、同施設（藤川）で開かれ、親子約10組が参加しました。楽しそうな声が響くこの催しをレポート。

this month
HighLight
3
今月の注目

子育て支援施設が主催する「おはなし会」は7月8日、同施設で開かれ、町内の親子約10組が参加しました。会が始まる前、今日の話し手となる北原香さんに伺いました。「話す内容は、大まかに決めてあるんですが、その日の子たちの様子や場の雰囲気によって話す内容は変わるんですよ。今日は何の話をしようかな」と香さんも楽しそうに午前10時過ぎから始まった会では、まずは手遊びから楽しみました。みんなで輪になって歌いながら、だんだんと速くなるリズムに合わせて手遊びしました。お母さんたちからも笑顔がこぼれます。本日の読みきかせ絵本は「犬のおまわりさん」。香さんが歌いながら読み進めると、どの子も身ぶり手振りをまねながら、絵を食い入るように見つめています。

絵本に続いて人形を使った劇などを楽しみました。箱の中から小さな犬の双子が飛び出すとみんなびっくり。そしてうれしそう。最後は専門員による

読みきかせのアドバイスや子育て相談などを実施。ホールには、終始子どもたちの元気な声が響いていました。子育て支援施設では、この「おはなし会」を隔月（変更する場合もあり）で開いています。専門員の駒井宗子さんは「お母さんたちから『この絵本がお勧めだよ』と教えてもらうこともあり、とても助かっています。お母さんたち同士の交流も進んでいます。先輩ママから新米ママに育児のアドバイスをする場面もあつたりして、とてもほほ笑ましいんですよ。未入園児の子がいる親子ならどなたでも参加できます。一人で子育てに悩んでいるお母さんは、ぜひ一度遊びに来てください」と話していました。

子育て支援施設（藤川）
☎（57）2231（月・祝日休館）



健康な歯が、より一層元気な笑顔を生み出します。

いつまでも健康な歯で 生き生きと充実した毎日を

生活健康課主催の「緑茶の里いい歯キラリ番人の歯コンクール」は7月8日、山村開発センターで開催されました。各部門（金の部、銀の部、銅の部）の審査を実施。入賞者が決定しました。

this month
HighLight
2
今月の注目

生活健康課が主催する「緑茶の里いい歯キラリ番人の歯コンクール」は7月8日、山村開発センター和室を会場として開催され、満70歳以上21人が参加しました。歯の大切さを再確認してもらい、これからは健康的な生活を送ってほしいという狙いのコンクール。本町では、若い年代のうちから8020を目指そうと、70歳以上の人を対象としています。渡辺歯科医院の渡辺克也医師が審査委員を務め、金の部（満80歳以上）、銀の部（満75から79歳）、銅の部（満70から74歳）の各部門に分かれて審査は実施されました。健康な歯が何本あるかなどを診断する歯数加算のほか、年齢による加算、外出の有無などを聞き取る日常生活加算などを加えて点数を算出する加算方式で実施されました。この結果、金の部第1位に輝いたのは山口教平さん（藤川）です。教平さんは昨年のコンクールでも第1位に輝いています。渡辺克也医師は「8020とは、何でも食べられて健康

であるという証。県では、達成者にバッチを進呈する活動を進めています。バッチをもった人は、ほかの人の目標になって欲しい」と講評を述べました。佐藤公敏町長は「歯や目は、身体の中でもっとも衰えるのが早い部位だといわれています。歯が丈夫ということとは、健康を維持していく上で一番大事なことです。皆さん、これからも現役として、さまざまな分野で活躍してほしい」と話していました。

【審査結果】
金の部①山口教平②山本學③前澤虎平、銀の部①小西學②長濱辰巳③藤田ときえ、銅の部①植村哲司②山本綾子③森永里美（敬称略）



表彰を受ける山口教平さん（金の部1位）